

議案19件中、賛否が分かれた議案の採決状況

(○印は賛成、×印は反対 村松幸昌議長は可否同数の裁決以外は採決に加わりません。)

議 案 名			議決 結果	四之宮 慎一	鈴木 まゆみ	井出 哲哉	藤岡 雅哉	村田 正春	原崎 洋一	吉田 昇一	奥川 清孝	内田 修司	増井 好典	河合 一也	石田 江利子	村松 幸昌	川島 要	杉田 源太郎	岡田 光正	秋山 博子	池谷 和正	鈴木 浩己	深田 ゆり子
議員 提出 議案	発議案 第4号	非核三原則の堅持を求める意見書 (案)	原案 可決	○	×	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○

■「発議案第4号」に対する討論の主な内容

反対討論

吉田 昇一 議員

自由みらいは非核三原則に反対しているのではなく、核兵器のない平和な世界を願う気持ちもありません。本市の「平和都市焼津宣言」での平和への誓いは、私たち市議会全体の共通の財産であり、誇りです。

反対理由は、地方議会として今どう振る舞う

べきかという「アプローチの違い」にあります。現在、国において厳しさを増す国際情勢下で、外交・安全保障の議論が進められています。地方議会は国を信じて、その動向を見守り支えるべきと考えます。タイミング等の違いから、今回は本意見書の提出を見送るべきと判断し、反対します。

討論の状況は、右記2次元コードから映像配信をご覧ください。



令和8年6月定例会
映像配信

意見書



意見書とは、市の公益に関することについて、議会の意思を意見としてまとめ、国会や関係する省庁に提出をするものです。

下記に一部を抜粋して掲載しております。全文をご覧になりたい方は、左記の2次元コードを読み込み、「2026年（令和8年）6月定例会」の項目からご覧ください。

非核三原則の堅持を求める意見書

広島・長崎にもたらされた惨禍を二度と繰り返さないため、被爆の実相を後世に伝えるとともに、「核兵器のない世界」の実現に向けた努力を着実に積み重ねていくことは、唯一の戦争被爆国である我が国の使命である。

よって、本市議会は、国会及び政府に対し、被爆国としての責務と国民の平和への願いを十分に踏まえ、非核三原則を堅持されるよう強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

<提出先>

衆参両院議長、内閣総理大臣、総務大臣、外務大臣、防衛大臣